

授業科目	保育内容「表現」の指導法（造形）				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21311J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	鷲崎 公彦							
授業概要	本科目は、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「表現（造形・絵画表現）」に基づき、造形表現の楽しさや面白さを体得できるような造形実技演習、教材研究をとおして、保育者に必要な感性の表現を養えるよう授業を展開する。また、子どもの発達段階に即した豊かな感性を育む表現の重要性について教授し、修得した技能や知識を、実際の保育の現場で応用できるように指導する。							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.領域「表現（造形・絵画表現）」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。</p> <p>2.領域「表現（造形・絵画表現）」において、幼児が経験し身につけていく内容の関連性や小学校の教科書等とのつながりを理解している。</p> <p>3.幼児の認識や思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</p> <p>4.領域「表現（造形・絵画表現）」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器の及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用する事ができる。</p> <p>5.指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成できる。</p> <p>6.模擬保育とその振り返りをとおして、保育を改善する視点を身につけている。</p> <p>7.領域「表現（造形・絵画表現）」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組む事ができる。</p> <p>8.様々な素材、道具に慣れ親しみ、豊かな表現ができるようになる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	30	50	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			20				20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				10	50		60	
技能・表現 (DP5-3)				20			20	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1.様々な素材、道具を使いこなし、子どもの発達段階に即した指導ができる。 2.領域「表現（造形・絵画表現）」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想し実践することができる。				領域「表現（造形・絵画表現）」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想し実践することができる。				

3.保育者に必要となる主体的な学びと協働を実践することができる。				
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション シラバスを用いた授業の導入	講義	復習:講義内容を復習する。	30
2	造形表現1 身近な素材を用いた工作(1) 【ペンダントづくり】	演習	予習:作品制作で使う素材を集める。 復習:授業内容を踏まえ、実践・指導の方法を考える。	60
3	造形表現2 身近な素材を用いた工作(2) 【行灯づくり】	演習	予習:作品制作で使う下絵の構想を練る。 復習:授業内容を踏まえ、実践・指導の方法を考える。	60
4	造形表現3 身近な素材を用いたおもちゃ作り 【自由制作】	演習	予習:制作する題材を選定し、素材を集める。 復習:授業内容を踏まえ、実践・指導の方法を考える。	60
5	造形表現4 季節の壁面装飾 【アイデアスケッチ・材料集め】	GW	復習:作品制作の目標と計画を立て、必要な準備をする。	60
6	造形表現4 季節の壁面装飾 【壁面装飾制作①】	GW	予習:作品制作で使う下絵の構想を練り、素材を集める。 復習:制作計画を踏まえ、必要な準備をする。	60
7	造形表現4 季節の壁面装飾 【壁面装飾制作②】	GW	予習:作品が完成できるように、必要な準備を進める。 復習:作品が完成できるように、仕上げる。	60
8	造形表現4 季節の壁面装飾 【発表会・相互鑑賞・レポート】	プレゼンテーション・レポート	予習:発表会に向けて発表の内容をまとめる。 復習:授業内容を踏まえ、実践・指導の方法を考える。	60
9	絵画表現1 手による描画活動(1) 【手形アート・フィンガーペイント】	演習	予習:汚れてもよい服などを準備する。 復習:授業内容を踏まえ、実践・指導の方法を考える。	60
10	絵画表現2 手による描画表現(2) 【スイミーを描こう】	GW	予習:汚れてもよい服などを準備する。 復習:授業内容を踏まえ、実践・指導の方法を考える。	60
11	絵画表現3 身近な材料を用いた絵画技法(1) 【色鉛筆・クレヨンなど】	演習	予習:絵画技法について調べ学習をする。 復習:授業内容を踏まえ、実践・指導の方法を考える。	60
12	絵画表現4 身近な材料を用いた絵画技法(2) 【絵の具など】	演習	予習:絵画技法について調べ学習をする。 復習:授業内容を踏まえ、実践・指導の方法を考える。	60

13	絵画表現5 絵画技法を用いた模写制作 【絵本を模写しよう】	演習	予習:描きたい絵本を選定し、 資料を準備する。 復習:授業内容を踏まえ、実 践・指導の方法を考える。	60
14	指導案作成1 造形・絵画表現の指導案作り(1) 【指導案作成】	演習	予習:これまでの授業を振り 返り、指導案の構想を練る。 復習:発表会に向けて発表の 内容をまとめる。	60
15	指導案作成2 造形・絵画表現の指導案作り(2) 【発表会・相互鑑賞・レポート】	プレゼンテーショ ン・レポート	予習:発表会に向けて発表の 内容をまとめる。 復習:授業を通して、自身の 成果と展望を整理する。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	絵を描く・ものを作るなどの時間をとったり、美術鑑賞や造形関連の書籍および絵本などにふれたり、美術・図 画工作に興味と関心をもち日常生活に取り入れる意識をすること。また、子どもの造形表現に関する特徴や 特性、興味・関心についても日々の活動や実習などでよく観察すること。			
テキスト	授業内でプリントを配布する。			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	将来、自分が保育者になるという自覚を常にもって授業に参加してください。また、授業前・授業中・授業後を問わず、日常的に子どもを意識し、子どもの活動へと結びつけることを考えてください。 造形表現に関わる基礎的な知識や技能を養い、応用的な想像力や創造性も身に付けていきましょう。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	課題および発表については、授業内で適宜連絡する。 フィードバックの方法についても、授業内で適宜解説する。